

# おらほの歳時記

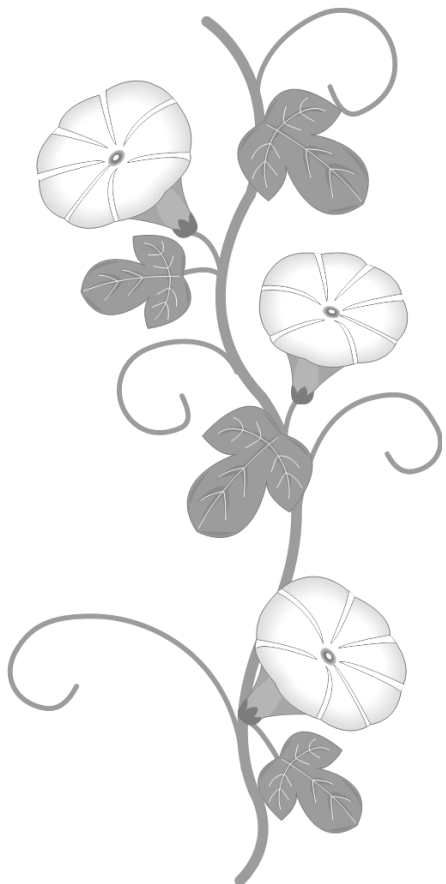
## もうじきお盆だし

お盆が近づいてきたで。

先祖の霊を迎え、供養する日がお盆の行事だし。本当わけ、盂蘭盆会(うらぼんえ)というわけせ。梵語のウランバナ ullambana、イラン語で霊魂を意味する urnam ていう言葉もあるじ。祖霊を死後の苦しみの世界から救済するための仏事ってわけだ。

陰暦七月十三日から十五日、新暦で八月十三日から十五日、この辺りは新暦の日に盆をやるよね。

おらとこじゃ、前日までにお墓をきれいに草のないようにしといてせ、十三日の夕方には、墓の前でカンバを焚いて持ってきた提灯に火を入れて祖霊をつれて、家の入口で焚いたカンバを道しるべに家まで案



内し、神棚に迎え入れて灯籠に火を灯し、十六日までいってもらうわけ。

ナスを横にして割りばしで四本の足を付けて、トモロコシの毛を尾にして付けてその上にうどんを乗せて、一皿作って、サケ、スイカ、キュウリ、トマト、夕顔、まんじゅうを供えたもんせ。そして、十六日の日までは肉は食わず、魚だったと思う。その十六日の午後(お賽日)祖霊をカンバを焚いて提灯を家の前で点けて墓まで送り、帰って来て盆棚のものを川に流す。馬を流すのはこれにのって帰ってゆくと言われた。そして妻わらで作った船をカンバを入れて火をつけて川へ流した。

子どもたちは皆、川に入って流すリンゴやその他の果物を先を争って拾ったもんせ。だってそんなもんは盆くらいしか食べなれかったでね。バナナなんぞなおさらせ!

今でも重柳の地区で作った船を十五日の夜、川に流す精霊流しの様な事をしてるので見に来ておくれや。

### 安曇野百選プロジェクトとは...

平成20年10月設立。景観、文化、風習など、地域に眠る財産を掘り起こし、市民主体でこれらを守り育てる活動を行っています。



東	横綱 あんじゃねえ ちんがら おらとこ こびんちやく ちったあ てきねえ ようなべ わにる もうらしい みろつちや あんね こちよばす だむんで いっこも	心配ないよ 片足どび 私の所 横つ面 少しは 疲れた 夜の仕事 はにかむ かわいそう 見ろよ 姉さん くすぐる それだから ちよとも
---	---	---

**蒙御免 方言番付**

司行  
和秀力々等

西	大関 あいかつべえ えーかん おけつちや おこびる かまいたち かまうな きのうなは くべる さきつちよ ちゃんちゃんこ そんねに わりかし こせる	はい 咳がしたいような時 いい加減 やめろや 午前十後の間のお茶 大口あいた傷 いじめるな きのうは 火に入れて焼く 先端 袖のないはんてん そんな 割合と こしらえる
---	---	---

# 安曇野 百選かわら版

発行：安曇野百選プロジェクト  
編集長：等々力秀和



## 昭和の面影 「豊科銀座」

お国訛

藤森秀夫

農学校生徒が改装の銀行前に今年も並立てたそれは農作物、桃、お花。電蓄ででかい宣伝、うろたえ橋へんに若い衆の手踊り、又女男。系魚川街道は人で埋まり、バス、ハイヤーの通行も多い。調査はあせだく。万一(注1)は満員、履物屋の二階は新宿式喫茶部新様の七夕竹が商店軒なみペラヘナペラヘナ在(注2)からもたことよってたかつてきた。

(中略)

昔のいろまちじゃ今夜も三味の音もする。

(注1) 食堂名 (注2) 近郊の村々  
(詩集「風と鳥」所収 昭和三十三年刊)

昭和三十年代初め、本通りの成相商店街は、「農村需要を満し郡下一の繁華街を形成」(信毎年鑑一九五六年版)し、豊科銀座と言われていました。

この街の七夕からお盆にかけての大売り出しが、初市(飴市)や恵比寿講大売出しとともにいかに賑わったかを、「めえめえ子山羊」の作詞者としても知られる豊科出身の詩人・藤森秀夫は、上記の詩「お国訛」で生き生きと表現しています。

詩を読むと、豊科銀座は、豊科駅近くの国道沿いにあった八十二銀行から昔のいろまち入口付近(成相上町)あたりまでに商店が密集しており、売り出しには町内や周辺の農村部から多くの客が訪れ、歩行者天国並みの多数の集客があったことが分かります。なかでも二階に喫茶店を併設した増田屋履物店の周辺は「うろたえ橋」と呼ばれ、繁華を極めていたことが読み取れます。ちなみにうろたえ橋は、酔っ払いがどこに飲みに行こうかうろたえたことがその名の由来と言われています

豊科町誌より抜粋・編集

インフォメーション

## 豊科夏祭り3連発!

7月21日(土) 18時〜21時

## 土曜日

豊科商店街恒例の土曜日。国道が歩行者天国となり、出店やイベントなど、子どもも大人も楽しめるイベントで賑わいます。

### 安曇野百選プロジェクトによる 百選ウォークラリー

コース図のチェックポイントを回りながら隠れた名所を巡るウォークラリー。普段見慣れた街の魅力を再発見しませんか。

■時間 18時受付開始

■場所 豊科まちづくり会館受付

■参加費 100円

■定員 200人(小学生以下は保護者の同伴が必要)

■問い合わせ 安曇野ブランド推進室(Tel.0263・82・3131)

7月28日(土) 16時〜21時

## あづみ野祭り

メインイベントのあづみ野ばやし踊りには、地元の区や企業、小学校のクラスなど約3,000人が参加します。

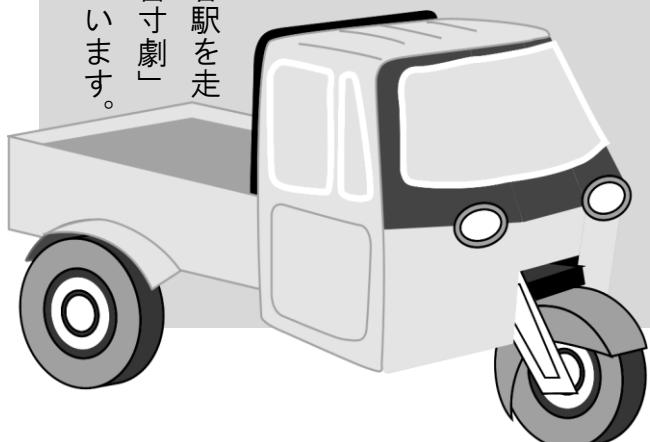
8月4日(土) 18時〜21時

## 七夕祭り

成相公園特設会場にて開催。大きな笹飾りが夏の夜空を彩ります。

リゾートビューふるさとを  
ご存知ですか?

リゾートビューふるさととは、長野〜南小谷駅を走る新型列車。百選プロジェクトでも「方言寸劇」を披露し、安曇野の風土・文化を紹介しています。



ご案内  
します!